

②旧百草台コミュニティセンター(旧百草台小学校)の基礎情報

○周辺環境

住 所:東京都日野市百草999
最 寄 駅:程久保駅(多摩モノレール)
最寄バス停:百草台公園



○対象地の基礎情報

敷地面積:15,915.38㎡
用途地域:第一種中高層住居専用地域
防火地域:準防火地域
高さ制限:なし
接 道:市道03号線
市道043号線
市道043-1号線
地区計画:なし
土地区画整理事業:なし
生産緑地地区:指定なし
公園緑地:なし
一団地の住宅施設:UR百草団地
(都市再生機構)
供給処理施設:なし
自然公園条例(都):都立多摩丘陵自然公園
盛土規制法(都):宅地造成等工事規制区域

○対象敷地

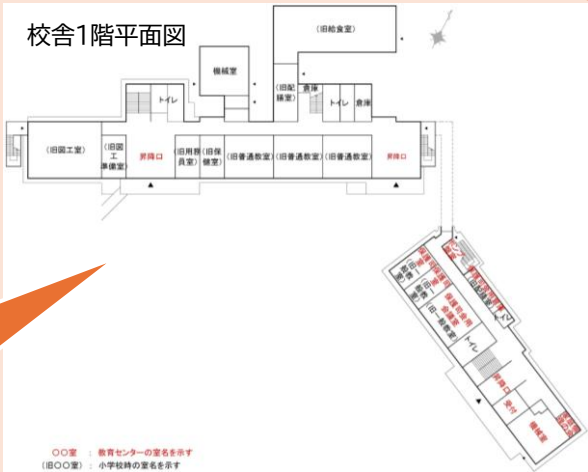


○既存建物

- ・竣工年 :1970年
- ・建築面積 :2,514.16㎡
- ・延べ床面積 :6,384.79㎡
- ・構造 :校舎棟(鉄筋コンクリート造)
体育館(鉄骨造)

現在の主な事業
・令和4年12月をもってコミュニティセンターを閉鎖
・令和5年1月より、グラウンドを日野市遊び場条例に根拠付け、運用を開始

校舎1階平面図



③旧高幡台小学校の基礎情報

○周辺環境

住所:東京都日野市程久保550
最寄駅:程久保駅(多摩モノレール)
最寄バス停:高幡台団地、中程久保



○対象地の基礎情報

敷地面積:16,545.94㎡
用途地域:第一種中高層住居専用地域
防火地域:準防火地域
高さ制限:なし
接道:幹線市道 I -4号線
地区計画:高幡台団地地区地区計画
(公共公益施設地区)
土地区画整理事業:なし
生産緑地地区:指定なし
公園緑地:なし
一団地の住宅施設:なし
供給処理施設:なし
自然公園条例(都):都立多摩丘陵自然公園
盛土規制法(都):宅地造成等工事規制区域

○対象敷地



対象地周辺は坂が多く、
起伏のある地形

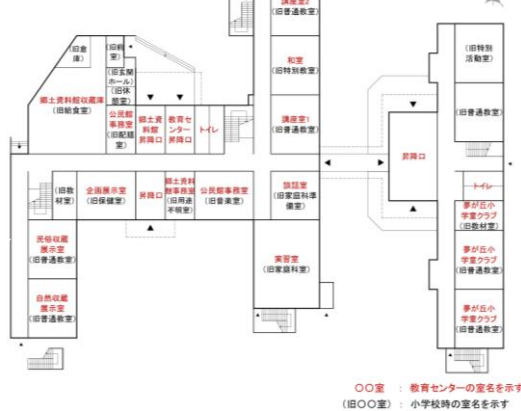
○既存建物

- 竣工年 :1972年
- 建築面積 :2,861.17㎡
- 延べ床面積 :5,822.12㎡
- 構造 :本館・新館 (鉄筋コンクリート造)
体育館 (鉄骨造)

現在の主な事業

- 日野市学校教育における調査研究、教員研修
- 長期欠席状況にある児童生徒に対する相談、援助
- 郷土資料館、公民館事業、学童クラブ

校舎1階平面図



○●室 : 教育センターの室名を示す
(旧○●室) : 小学校時の室名を示す

④上位計画における方針とこれまでの検討経緯

		①平山台健康・市民支援センター	②旧百草台コミュニティセンター	③旧高幡台小学校
上位計画における方針	日野市まちづくりマスタープラン2019-2040 2019年4月改訂	・平山中学校地域 まちづくり方針図では、平山台健康市民支援センターを中心とする健康・介護予防・コミュニティ維持のための生活拠点の形成が示されている	・日野第三中学校地域まちづくり方針図では、百草団地地区地区まちづくり(案)の検討や生活サービスが不足する丘陵部住宅地では高齢者が住み続けられるよう生活支援機能や移動環境を充実と示されている	・日野第三中学校地域まちづくり方針図では、高幡団地地区地区まちづくりの推進(公共施設の再編や交流の場の創出)が示されている
	日野市公共施設等総合管理計画(改訂版) 平成29年(2017年)3月(令和5年(2023年)3月改訂)	・「日野市財政再建計画・第6次行財政改革大綱実施計画」の中で、令和10年度末を閉鎖とする目標年次を定めている ・これまで、施設が担ってきた機能を踏まえつつ、この地域に真に必要な機能・サービスについて検討をしていく必要がある ・日野市と八王子市の都市計画を踏まえつつ、 <u>既存の都市計画などの枠組みの中ではこれらを実現できない場合は、都市計画の変更など都市計画制度を柔軟に活用しながら実現に向けて取り組みを進める</u>	・令和4年(2022年)12月末で閉鎖した ・百草団地の区域は、一団地の住宅施設の都市計画により、 <u>建てられる建物の用途に制限がある点に留意する必要がある</u>	・「日野市財政再建計画・第6次行財政改革大綱実施計画」において、当該建物の耐震補強工事は実施せず、当該建物を使用している各施設は段階的に機能移転等を検討して実施し、 <u>当該建物については利用を中止する方針</u>
	個別施設計画	・日野市コミュニティ施設個別施設計画	・なし	・なし
検討経緯		● 令和5年度(4回):平山台健康・市民支援センターの今後を考える意見交換会 ● 令和6年度(4回):おかのうえプロジェクト(内容:官民連携、コミュニティデザイン、防災、振り返り)	● 百草台コミュニティセンター閉鎖に係る説明会(令和4年)	なし
跡地利用に関する主な意見	跡地活用	・シビックセンターの建設や、建替えに関するご意見、機能の維持や、小さい建物を望む声など、地域の拠点を望む声が多くあった	※跡地活用に関する意見は特になし	—
	防災	・平山地域全体として、防災機能を求める声や、避難所、避難場所の位置づけなど、多くの意見があった	・指定緊急避難場所としての活用や夜間時のグラウンドの開放の仕方などの意見があった	—
	既存建物	・平山地域全体として、防災機能を求める声や、避難所、避難場所の位置づけなど、多くの意見があった	・なし	—
	代替場所	・代替場所の目途が見えない中での活動の継続に関する不安の声が多くあった	・貸室や体育館、駐車場の代替利用に関する意見があった	—
	その他	・資金調達におけるPFI手法、地域課題、コミュニティ活動、土地利用など、幅広い意見があった 【平山のまちづくりの進め方】 ・幅広い世代の地域住民を巻き込みたい、子どもの意見を大切に進めたい、防災を中心としたい、長期的視点で進めたい(子どものため)、対話を大切に進めたい など 【平山のまちづくりで学んでみたいこと、やってみたいこと】 ・跡地活用における他の成功例、子どもから大人まで参加できるワークショップ、防災体験(宿泊型)、BBQやプレーパークなど 【平山のまちづくりの進め方での不安やハードル】 ・若者の意見が出にくい、多様な意見の合意形成が難しい、多くの住民の参加(意見)を得ることが難しい、防災や交通量の増加などが不安 など	・新たなグラウンドの管理や申込方法などの意見があった	—